

～歴史ロマンと自然のまち～

平群





C o n t e n t s

平群町の沿革 History of Heguri-town 過去、現在、そして未来への布石	P 3 ~ 4
悠久の時の流れに To the flow at the eternity	P 5 ~ 6
平群町の潤い Enriching of Heguri-town	P 7 ~ 8
平群町の産業 Industry of Heguri-town	P 9 ~ 10
平群町のまちづくり City planning of Heguri-town	P 11 ~ 12
平群町イラストマップ Heguri-town's MAP	P 13 ~ 14



ごあいさつ



私たちの平群町は奈良県の北西部に位置し、東に矢田丘陵を、西に生駒山系を擁し、中央を亀田川が北から南へ流れ、倭建命が「たたみごも平群の山のくまかしが葉を…」と歌に詠んだように、周囲を緑深き美しい山に囲まれた町です。

町内には奈良時代の皇親政治家長屋王と夫人の吉備内親王の墓や、聖徳太子が毘沙門天王を感得した信貴山、役行者の修行地である千光寺など歴史遺産が点在しています。また、昭和四十年代より大阪のベットタウンとして開発が進み、都市近郊の住宅地として発展してまいりました。

本町では、町の財産である「自然」や「歴史」を活かしたまちづくりを基本方針として、町民との協働により「緑豊かで心豊かな子どもの歓声が聞こえる町」を目指しています。

この要覧をお読みいただき、平群町のことを少しでも知っていたら、大変嬉しく思います。

平群町長 岩崎 万勉

ようこそ、平群町へ

—— 緑豊かで 心豊かな 子どもの歓声が聞こえる町 ——



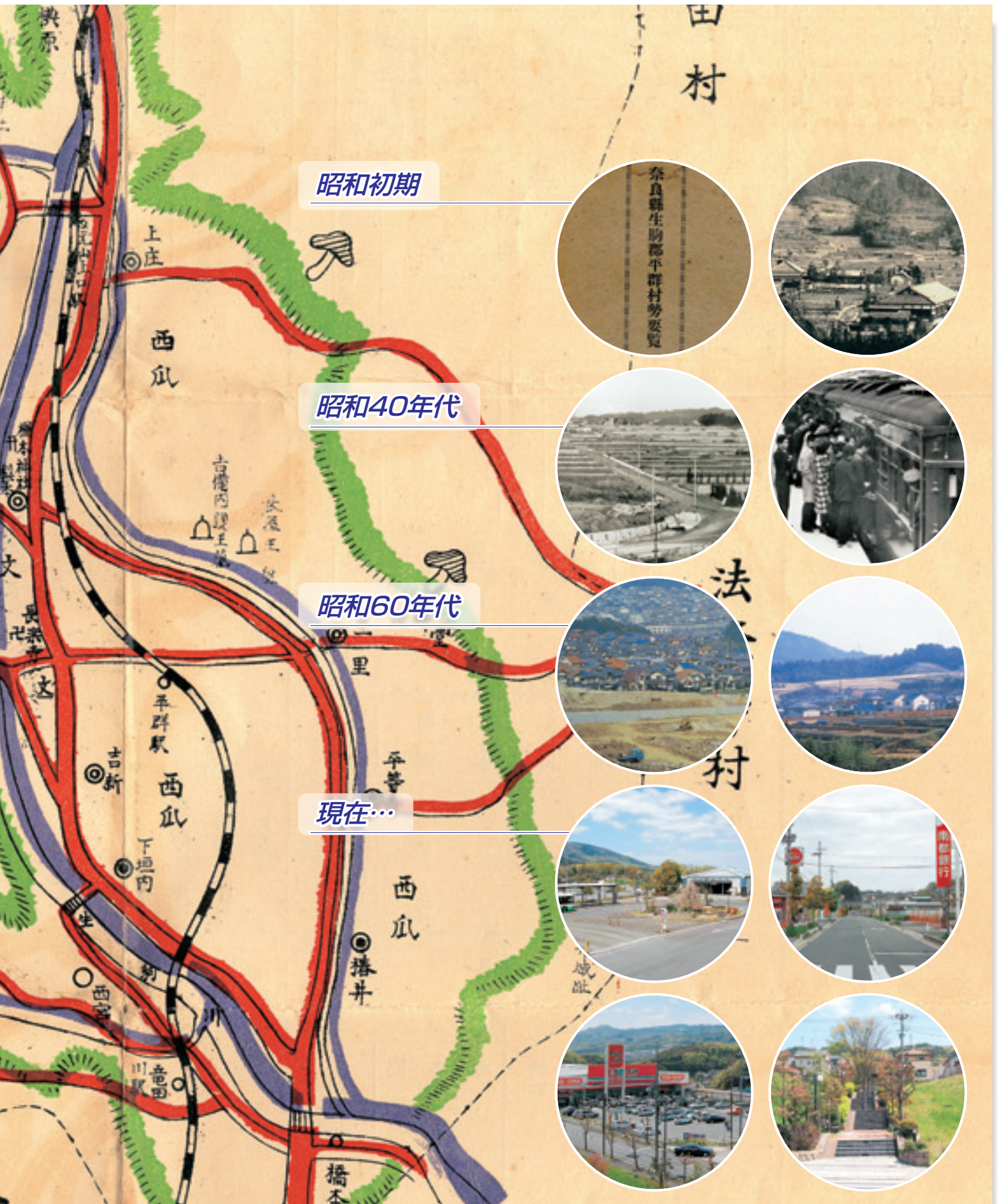
平群町の沿革

History of Heguri-town

- 
- | | |
|-------|---|
| 昭和46年 | 町制施行 |
| 昭和57年 | 町の花（菊）、木（樫）町歌・町民憲章、福祉憲章制定 |
| 平成2年 | 平群100周年 第3次総合計画策定 |
| 平成3年 | 町制施行20周年 |
| 平成4年 | 平群西小学校創立120周年 |
| 平成5年 | 総合スポーツセンター「ウォーターパーク」「グラウンド」オープン |
| 平成6年 | 総合スポーツセンター「テニスコート」オープン
平群東小学校創立120周年 |
| 平成7年 | 総合スポーツセンター「体育館」オープン
(全国スポーツ・レクリエーション祭バウンドテニス大会会場) |
| 平成9年 | 平群中学校創立50周年 |
| 平成11年 | 保健福祉センター「プリズムへぐり」オープン
活性化センター「くまがしステーション」オープン
国道168号線（平群バイパス）開通 |
| 平成13年 | 町制施行30周年 |
| 平成14年 | 「はなさと保育園（子育て支援センター併設）」オープン |
| 平成15年 | 第4次総合計画策定 |
| 平成17年 | 斎場「野菊の里」オープン |
| 平成18年 | 観光文化交流館・町立図書館「あすのす平群」オープン |

● 昭和4年「奈良県生駒郡平群村勢要覧」より

過去、現在、そして未来への布石



平 群 氏

平群町は5～7世紀に古代豪族「平群氏」が本拠とした地といわれています。平群の歴史はこの平群氏から始まるのです。

平群氏は大和朝廷の初期に活躍したとされる武内宿禰の子、平群木菟を祖とする古代豪族の一つであり、「日本書紀」の記録から、平群木菟は仁徳天皇の大臣で、忠臣として記述されています。また雄略天皇以降は、木菟の子の真鳥が大臣を歴任して一族の興隆を極めたといわれています。仁賢天皇の崩後、さらに権力を強め、政治に影響力を持つようになりました。

そんな中、真鳥の子、鮪が物部鹿鹿火の娘、影姫を皇太子（後の武烈天皇）と争い、大伴金村の軍勢により殺害され、真鳥の挙兵を恐れた大伴金村はひそかに兵を集め、真鳥の邸に火を放ち、真鳥を自害させたといわれています。

その後、平群氏の勢力は後退し、しばらくの間「日本書紀」からその姿を消すこととなりますが、587年仏教導入派の蘇我馬子、聖徳太子らに協力して、物部守屋を征伐した「平群神手」、小徳の官位で征討新羅副将軍に任ぜられた「平群宇志」、大化改新の際に東国国司として派遣され、新政権の大夫氏族としての地位を築いた「平群臣」、681年大山下の官位で「日本書紀」の編纂、執筆に関わったとされる「平群子首」、684年八色の姓施行により、改めて平群臣など52氏に「朝臣」の姓を賜りました。奈良時代には、長屋王に仕えたとされる、倭舞の名人「平群廣足」、遣唐使として派遣され、二度の遭難に遭うも、苦難の末に無事帰国した「平群廣成」など多くの官人を輩出し、その名を歴史に刻みましたが、奈良時代から平安時代へ、時代の変遷とともに「平群氏」の名も歴史の表舞台より消えて行くことになりました。

長 屋 王 と 平 群

〔はじめに〕

平群町の梨本地区に長屋王の墓があります。また、北西に少し離れたところに夫人の吉備内親王の墓もあり、江戸時代より地元で伝えられてきました。

〔長屋王とは〕

長屋王は、壬申の乱（672年）の勝利によって政権を掌握した天武天皇の皇子である高市皇子の子として生まれました。母は、天智天皇の皇女の御名部皇女です。没年は「懷風藻」の記録から「54歳」と推測されています。

長屋王は奈良時代の皇親政治家で、724年聖武天皇が即位すると左大臣（現在の総理大臣）として政治の最高職に就任、若い天皇を盛り立てて政治を進め多くの業績を残しています。しかし聖武天皇の背後には藤原氏がついており、政治方針にその色が反映され、次第に法制度に詳しい長屋王がじゃまになっていきます。藤原氏は不比等の死後、やや勢力を落としますが、その娘で聖武天皇夫人の光明子を利用して勢力の回復を計ります。光明子が聖武天



吉備内親王の墓

悠久の時

To the flow a



皇の子、基王を生むとわずか2カ月で皇太子にします。しかし、期待された基王は翌年亡くなってしまいます。そのため光明子を皇后に昇格しようと目論みますが、これまで、皇族以外を皇后にした前例がないことを理由に長屋王は反対することが予想されました。また、高市皇子より引き継いだ膨大な遺産（領地や特権）が律令制を進める障害になったことも考えられています。

〔長屋王の変〕

729年2月10日、長屋王邸に出入りしていた漆部君足・中臣東人が「長屋王は左道を学び、国を傾けようとしている。」と密告、宮廷守護部隊により長屋王邸が囲まれます。翌日、勅使が激しく詰問し、長屋王への疑惑は大罪であるとされ、翌日の12日に長屋王が自害し、夫人とその子4人も自らその命を絶ちました。13日には長屋王と夫人の屍が生駒山に葬られます。その後、関係者7人が流罪となるも、長屋王の他の家族を含めてこれ以外は罪に問われず、密告した2人を始め、詰問にあたった勅使の官位が上がり、8月には元号を「天平」と改元、光明子が皇后になりました。

このように「長屋王の変」は藤原氏を軸にした皇位継承の絡んだ政変の可能性が強いとされています。

〔長屋王邸の木簡について〕

昭和63年奈良市内のショッピングセンター建設の際、遺跡の発掘調査が行われ、立派な建物群と共に木の札に墨で字を書いた「木簡」が多量に発見されています。この木簡には「長屋親王宮鮑大賛十編」などと書かれており、大きなニュースとなりました。この木簡は、長屋王邸の食生活の一端をうかがわせるものであり、さらには「親王」というのは天皇の兄弟や子どもに使用する称であること、「大賛」というのは天皇の食べ物やさすことなどから、この木簡は長屋王が天皇の権力に極めて近い地位にあったことをうかがわせたものであり、その権勢がこれまでの予想を超えた強力なものであったことが明らかにされつつあります。

木簡の中には、「平群朝臣廣成」や長屋王邸にいた倭舞の名人「平群朝臣廣足」を借りたいと宮中の雅楽寮より要請したものの出土しています。これらのことから平群氏の一族が出仕していたことも分かっており、長屋王と平群を結びつける資料として、また、長屋王の墓が平群に所在する伝承に繋がってくるのかも知れません。

〔長屋王墓について〕

「続日本紀」に729年2月長屋王、吉備内親王の屍を生駒に葬ると記載されているだけで正確な所在地は明らかではありません。

の流れに

t the eternity



そして、江戸時代になって「大和志」に平群梨本村に双墓があり、2人の墓の伝承が記録されています。小説風な解釈でいうと長屋王に仕えた人々は、その人格と教養から長屋王を尊敬し慕っていました。長屋王事件の経過より、長屋王夫妻はまともなお墓に葬られていないことを憂い、長屋王の恩恵を受けていた平群人達が2人の遺骸をこの平群谷に移し手厚く葬ったと言われています。その後、地元伝承や文献から明治に2人の墓に定められ、垣根や鳥居などがある現在の姿に整備が進められたようです。

〔風月同天〕

唐の高僧「鑑真和上」が危険を冒して仏教戒律を伝えるため、日本への渡航を決意させた理由に長屋王の仏教活動があります。

唐の高僧招請の使命を受けた留学僧榮叡・普照の願いを聞き、鑑真和上は並み居る弟子達が尻込みするのを見て、「日本は仏教に有縁の国である。かつて、仏法を興隆された聖徳太子がおられ、この度は「風月同天」の詩句を刺繍した袈裟を送った長屋王がおられる。これは仏法のためである。なんぞ身命を惜しむことがあろうか。」と自らが渡航することを宣言し、幾度もの危険な渡航を繰り返し、失明しながらも渡日、伝戒を果たされます。

さんせん いいき ふうげつどうてん きしよぶっし きょうけつらいえん
山川異域 風月同天 奇諸仏子 共結来縁

(訳) 山や川で地域が異なっている、国は違っている、風月のいとなみは、同じ空のもとで移り変わっています。袈裟をお釈迦様の諸々の教え子に、ことづけて寄贈します。共に仏と縁を結びましょう。

〔さいごに〕

長屋王の実績は、天皇に次ぐ権力者でありながらほとんど伝えられず、むしろ意識的に歴史上から消されています。冤罪ながら国家の大罪として自殺に追い込んだまま闇の中へ葬ったようです。平群町では今、1300年を経て、長屋王という人物から悠久の時の流れを感じることができます。

嶋 左近と平群

〔はじめに〕

「嶋 左近」といえば、石田三成の重臣として、関ヶ原の合戦の参謀であったことで著名です。

司馬遼太郎の小説「関ヶ原」では、主役級の扱いがなされ、「嶋様と申せば、ご生国は大和の平群でございましょう」と記述されています。実際、その取材で平群を訪ねており、確信を持た

れたの記述だったのでしょ。

近年の調査により、複数あった「嶋左近」の出自説の中で、平群町が最有力と明確に言えるようになってきており、司馬遼太郎氏はその位置づけを早くに行われたことになります。

嶋左近は平群町北福貴にあった興福寺の荘園「福基寺庄」の下司職から武士として成長し、代々その当主が「左近」を名乗ったと考えられています。

信貴生駒山系を隔てて河内と接する地勢から、安定した領主としての成長は困難であり、筒井氏に関係しつつも、河内・山城方面からの侵攻勢力に翻弄されつつ、戦乱の世を生き抜いてきたのでしょ。

〔嶋左近と松永久秀〕

戦国末期、筒井順慶が織田信長から大和守護を命ぜられた頃には、椿井城を整備・築城して、信貴山城の松永久秀と対峙したと考えられています。

松永久秀は信貴山城（現在の平群町）を修築し、南都の多聞城とあわせて本拠とし、一時は織田信長より大和支配を許されるほどになったものの、結局は背いて信貴山城に滅びます。しかし武将としての力量を高く評価され、嶋左近が関ヶ原の合戦の際に「今時の諸侯は松永久秀のような果断にかけている」とほやいたといわれるほど、敵将からも一目置かれる存在であったことが伺えます。

〔嶋左近の人物像〕

筒井順慶の死後、その子、定次に従って上野に移るが、まもなく筒井氏の元を離れ、興福寺持宝院に隠居したとも、豊臣秀長に仕えたとも言われています。そして、一般的には石田三成が自らの禄高4万石の半分を与えて召し抱えたとされています。近年の研究では、豊臣秀吉が石田三成の補佐役として佐和山城下に置き、付け家老とした可能性が高いと言われています。「嶋 左近」の人となりは「猛将」「侍大将」など勇ましい印象が強いですが、外交的で領国経営にも卓越した能力があったことが伺えます。

近江佐和山城下に伝わる戯れ歌……「三成に過ぎたるものが2つあり、嶋の左近と佐和山の城」が伝わっています。名城の誉れ高さ佐和山城とともに民衆の評価が高かった人物なのです。



嶋左近ゆかりの白山神社（福基寺）



長屋くん



左近くん

平群町の潤い

Enriching of Heguri-town

平群町は古来より伝わる歴史遺産や伝統、産業が息吹くまちです。このまちの豊かな自然環境がたくさんの恵みをもたらし、生活の中にさまざまな「潤い」を導き出しました。

平群町の自然・歴史・産業に触れ、このまちの素晴らしさに触れてみる。暮らしてよかったと思えるまちに変わっていく。そんな人たちの声を集めてみました。

毎日を何気なく暮らす中で感じる「潤い」。これこそ平群町が生み出す、魅力的なアクセサリーなのです。



信貴山 朝護孫子寺

信貴山は今から1,400余年前の昔、聖徳太子が毘沙門天王を感得された日本で最初の毘沙門霊場として、また、春は桜、夏は新緑、秋は紅葉、冬は雪景色と季節感豊かな自然環境が身も心も癒す霊地として親しまれています。

毘沙門天王は福德高貴の神で、妻の吉祥天女、子の善財師童子ぜんにしどうじの三体できちじょうてんによご本尊とされていることから「家族円満」のご利益があるといわれ、家族の絆が問われている今日、多くの方が家族揃って参拝に来られます。

桜の植樹

古今集に詠まれた竜田川。この平群の宝物である竜田川を住民の力で整備し、みんなが楽しめる「いこいの場」にする活動の一環として、桜の植樹を行っています。桜の里親たちが心を込めて植樹し、一本一本に里親名が記されたプレートを付け、桜の成長を見守っています。



へぐり盆踊り

平群町の夏の風物詩となっている「へぐり盆踊り」。毎年、大きな踊りの輪が絶えることなく続いています。子どもからお年寄りまで、楽しい夏のひとときを過ごしています。

ふれあい体験

将来、育児をする際に子育てを自然に受け入れられるよう、中学生と赤ちゃんの「ふれあい体験」を行っています。

子育ての楽しさやしんどさ、両親への感謝の気持ちを感じてもらうことができました。



デイサービス

高齢者の方の健康づくり、生き甲斐づくりをサポートするためデイサービス事業を行っています。

夏祭りやクリスマス会など時節ごとの催し物を行い、利用者の方に喜んで頂けるサービスが出来るよう心掛けています。

乗馬クラブ

平群町の豊かな自然環境の中に乗馬クラブがあります。馬は大人しく、人なつっこい動物で、実際に触って頂くと、馬の優しさや温かさが伝わってきます。乗馬に親しんで頂くため小さなポニーを連れて、くまがしステーションなどで行われる町内でのイベントに参加し、子どもたちに喜んでもらっています。



フラダンス

好みの音楽に合わせて体を動かし、とっても心地よく、健康づくりができ、リフレッシュできるひとときです。

今では、お揃いの衣装を身にまとい、頭に付けるボー（かんむり）もみんなの手作りです。フラダンスを踊っているときは、気持ちにも張りが出て、若々しい気分であみなと過ごせる大事な時間になっています。



千光寺

千光寺は千手観音を感得された修験道の開祖「役行者」が開いた寺院で、毎年恒例行事として、役行者を祭っている行者堂の扉のカギを開閉する儀式として、4月に「戸開式」10月に「戸閉式」を行っています。

この儀式を行っているところは、大峰山など数少なく非常に珍しい儀式となっています。大阪など都心から近いにもかかわらず、季節感豊かな自然が多く残っているところで、たくさんの方が参拝やハイキングに訪れます。きれいな「緑」「空気」「水」に触れ、心が落ち着く、それが千光寺の魅力です。



平群町の産業

Industry of Heguri-town

平群町ではその立地条件から、都市近郊農業地域として京阪神の市場を中心に、多品目の農産物を出荷しています。その中でもバラや小菊の生花、ブドウやイチゴなどの果実栽培が盛んに行われています。

また、町内で収穫された農産物を町内で消費する「地産地消」を推進するため「道の駅 大和路へぐりくまがしステーション」に直売所を設置し、四季折々の生花、果実、野菜などの販売を行っています。



道の駅 大和路へぐり くまがしステーション

いにしへの香りたよう
フルーツ・フラワーの里

この道の駅には四季折々の平群町内で取れた農産物を販売する「産地形成促進コーナー」や、地域の食文化を受け継いだ郷土料理を提供する「地域食材供給室」、平群町ならびに周辺地域における様々な情報を広く提供する「展示コーナー」、ドライバーの憩いの場所となる「玄関ホール」などの機能を兼ね備えた施設があります。



路線名：国道168号（バイパス）
所在名：奈良県生駒郡平群町平等寺75-1
TEL：0745-45-8511
開設時間：3月から10月 9:00～19:00
：11月から4月 9:00～18:00
休館日／12月31日～1月3日
※トイレ・駐車場・公衆電話は24時間利用できます。

1 小菊

町の花でもある菊の栽培は、古くから続く伝統的な農産物の1つです。特に最近では小菊に特化することでブランド力を強化しています。平群町の日照条件や土壌が小菊作りに最適な環境であることから、花持ちが良く、バラエティーに富んだ品種が作付けされており、品質、生産量ともに関西のトップブランドとして確固たる地位を築いています。

2 ブドウ

県内最大のブドウ産地として、奈良県内はもとより大阪、京都への各市場に向けて出荷を行っています。品種は「デラウェア」を中心に栽培していますが、最近では多様化する消費者のニーズに対応し、大粒な実の品種の栽培も進んでいます。30～40歳代の若い生産者も多く、研修や他産地との交流などにより新しい技術の導入にも意欲的に取り組んでいます。

3 へぐりの芋焼酎「里の恵」

遊休農地の解消とまちおこしの一環として特産品の研究開発を進めてきました。その結果、地元農家で古くから親しまれ、平群町の大地の恵みを受け元気に育った「さつまいも（金時芋）」を原材料とした、地元ブランドの芋焼酎「里の恵」が誕生しました。ほんのり甘く、さっぱりとした口当たりで飲みやすい焼酎として大人気です。

4 バラ

温室栽培による周年出荷を行い、近郊産地の立地を活かした、高品質のバラとして高い評価を受けています。消費者ニーズにいち早く対応するため、絶えず新しい品種を導入し、バラエティー豊かな美しいバラが栽培されています。

また、栽培場所近くの直売所では、品質にこだわった約50種類の品種を用意しており、「ピンク」「オレンジ」「イエロー」など色とりどりのバラをお好みにあわせてラッピングしています。

5 イチゴ

ちょうど12月のクリスマス頃から春にかけてイチゴの季節です。平群町では主にハウス栽培が行われ、イチゴを立ったまま収穫できる高設栽培の導入が増えています。大きなイチゴの実が赤く色づく頃はハウスの中に甘い香りが広がっています。品種は奈良県の開発品種である「アスカルビー」や「古都華」が消費者のみなさんより好評を得ています。また、加工品として手作りジャムの販売も「道の駅 大和路へぐり くまがしステーション」にて行っています。

平群町のまちづくり

City planning of Heguri-town

平群町では、
様々な施策、

教育・文化

Education and culture

明日を担う子どもたちの健やかな成長を願い、教育環境の整備と教育施設の充実を図り、子どもたちの成長を見守っています。また、少子高齢化が進み、心の潤いが求められている中で、生涯学習や公民館教室活動などを、人と人との交流の場、楽しめる学習の場として推進しています。

また、観光、文化の情報発信拠点として図書館を併設した「あすのす平群」では地域資料を取り揃えており、平群の文化や歴史に触れることができます。



中央公民館



あすのす平群（図書館）



はなさと保育園

福祉・健康

Welfare and health

健康でいきいきと暮らせること、生き甲斐をもって人生を楽しめることが何よりも大切です。

町民のみなさまの健康づくり、地域福祉の施設整備を進めるとともに、様々な健診や相談窓口の開設を行っています。



総合スポーツセンター体育館



ウォーターパーク



かしのき荘（老人福祉センター）



プリズムへぐり（保健福祉センター）

住民のみなさまの意識や社会情勢の変化を踏まえ、施設により「まちづくり」を推進しています。

生活・安全

Life and safety

生活基盤の礎として公園や環境施設の整備、商工業振興の施策、緊急事態に備えた体制の充実に取り組んでおり、安全で住みよいまちづくりをめざしています。



中央公園



商工会館



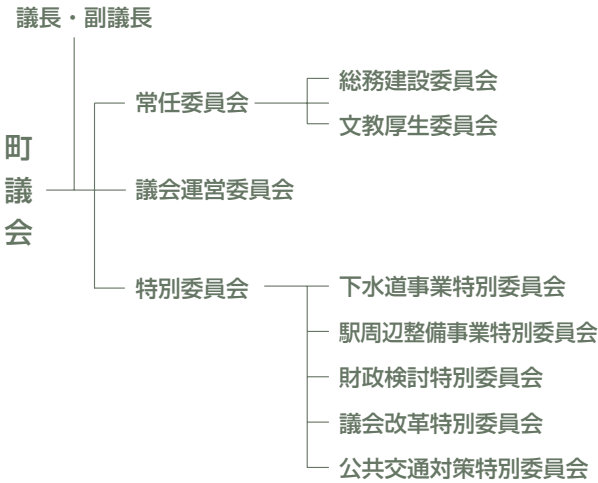
清掃センター



野菊の里斎場

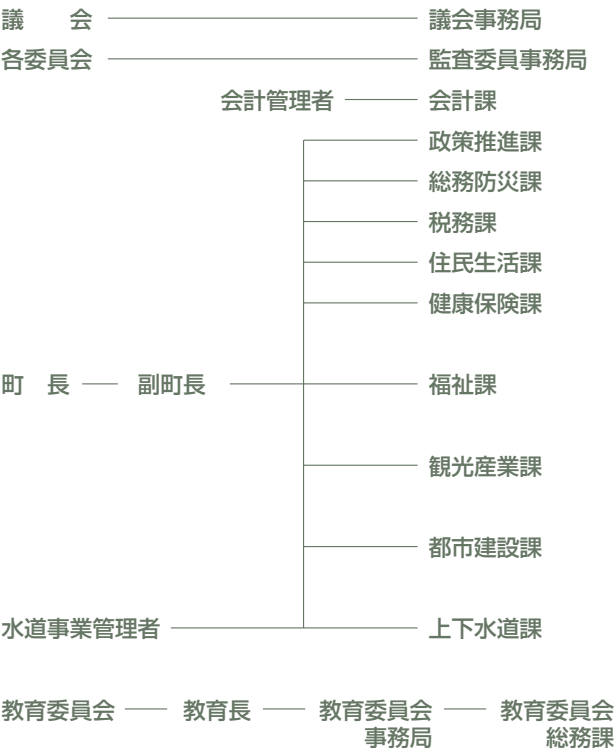
議会のしくみ

Organization of assembly



行政組織図

Town service system



外郭団体

- (公財) 地域振興センター ————— 事務局
- (福) 社会福祉協議会 ————— 事務局

Information

東経 135度42分3秒
北緯 34度37分6秒
海拔 60.79m
面積 23.90km²
東西 約5.5km
南北 約6.6km
気候 奈良盆地の特色を示す「内陸性気候」
人口 19,834人（平成25年2月末現在）

■平群の由来

平群町は倭建命が「たたみごも平群の山」と歌に詠んだように周囲を緑深き生駒山系、矢田丘陵に囲まれた歴史の揺籠です。

古代に都のあった桜井や飛鳥方面から見て、奈良盆地の北西の対角にあることから「辺の国」（へのくに）が「平群」（へぐり）になったとされています。

はやくから文化が開け、武内宿禰を祖とする古代豪族「平群氏」が本拠を置いた地として知られ、その名を町名としています。

モデルコースの紹介

北部コース

千光寺・役行者と修験の道

近鉄元山山口駅—1.0km—生駒山口市社—0.1km—首なし地蔵—1.7km—清滝石仏群—0.1km—揺地蔵尊—0.3km—千光寺—3.1km—金勝寺—1.8km—檜本神社—0.7km—紀氏神社—0.6km—吉備内親王墓—0.1km—長屋王墓—0.4km—三里古墳—0.7km—近鉄平群駅（約11km）

中部コース

十三街道と業平ロマンの道

近鉄平群駅—0.7km—三里古墳—0.4km—長屋王墓—0.1km—吉備内親王墓—1.5km—つぼり山古墳—0.6km—白山神社—0.1km—道詮律師墓—0.3km—藤田家—0.1km—普門院—3.0km—杵築神社—1.3km—十三塚・十三峠—0.1km—峠の石仏・道標—0.3km—街道の石仏・道標—3.1km—四ツ辻古墳—0.4km—越木塚関取道標—0.4km—剣上塚古墳—1.2km—西宮古墳—0.2km—平群神社—0.7km—近鉄竜田川駅（約15km） ※藤田家（要予約）

南部コース

霊峰信貴山と戦国の夢街道

近鉄竜田川駅—0.4km—烏土塚古墳—1.7km—越木塚関取道標—0.2km—石床神社—0.1km—消渴神社—0.4km—石床神社旧社地—0.7km—御櫛神社—0.9km—信貴畑勧請の地・樽観音石仏—1.0km—奥の院—2.0km—朝護孫子寺—0.5km—猪上神社—0.9km—弁財天の滝—0.8km—信貴山城—5.4km—椿井西入口石仏—0.3km—椿井井戸—0.1km—宮裏山古墳—0.2km—椿井春日神社—0.1km—宮山塚古墳—0.4km—平等寺春日神社—1.5km—近鉄竜田川駅（約18km）





奈良県 平群町



Town Symbol

平群町の「平」を勘定流の文字にデザイン化したもので、中央の2本の太線は発展の第一ステップとなる道路（大阪・奈良を結ぶ2本の道路）を表し、上下の矢印は「行き交うこと」を表しています。



Tree

榎 [かし]



Flower

菊 [キク]



鉄道でお越しの際はこちら！

→ Here at coming in the railway.

From 大阪

- 大阪（JR大和路線）— 王寺（近鉄生駒線）— 平群
- 難波（近鉄奈良線）— 生駒（近鉄生駒線）— 平群

From 東京・名古屋・京都

- 東京・名古屋（新幹線）— 京都（近鉄京都線）— 西大寺（近鉄奈良線）— 生駒（近鉄生駒線）— 平群



自動車でお越しの際はこちら！

→ Here at coming with the car.

From 大阪

- （第二阪奈道路）— 沓分IC —（国道168号）— 平群
- （西名阪自動車道）— 香芝IC —（国道168号）—（国道25号）—（国道168号）— 平群

From 京都

- （国道24号）— 奈良 —（第二阪奈道路）— 沓分IC —（国道168号）— 平群

From 東京・名古屋

- （東名高速道路）—（名阪国道）—（西名阪自動車道）— 法隆寺IC —（国道25号）—（国道168号）— 平群

Access Map



編集・発行／平群町役場 政策推進課

〒636-8585 奈良県生駒郡平群町吉新1-1-1

Tel. 0745-45-1001 Fax. 0745-45-6619